

デバイスモニタ機能

サンプル画面説明書

三菱電機株式会社

サンプルのご利用について

サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

- (1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。
- (2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。
- (3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。
但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合はその限りではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。
- (4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。
- (5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は、その条件にも従ってください。
- (6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。
- (7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては、対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

目次

目次	3
改訂履歴.....	4
1. 概要.....	5
2. システム構成.....	5
2.1 デバイスモニタ範囲.....	5
3. GOT について	5
3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション	5
3.2 作画ソフトウェアの接続機器設定.....	5
3.3 作画ソフトウェアの Ethernet の設定	6
4. 画面仕様.....	6
4.1 表示言語	6
4.2 画面遷移	6
4.3 画面説明	8
4.3.1 メニュー(B-30001).....	8
4.3.2 X デバイス(B-30002).....	9
4.3.3 Y デバイス(B-30003).....	10
4.3.4 M デバイス(B-30004).....	11
4.3.5 B デバイス(B-30005).....	12
4.3.6 D デバイス(B-30006)	13
4.3.7 W デバイス(B-30007).....	14
4.3.8 アラームリセット(W-30001)	15
4.3.9 言語設定(W-30002).....	16
4.3.10 時計設定(W-30003).....	17
4.3.11 X(Y、M、B)デバイス変更確認(W-30004～30007).....	18
4.3.12 システムダイアログ	19
4.4 使用デバイス一覧	20
4.5 コメント一覧	21
4.6 スクリプト一覧.....	21
5. テンプレート.....	24
6. その他	25
6.1 デバイスモニタ範囲の変更	25

改訂履歴

サンプル画面説明書

改訂日付	管理番号*	改訂内容
2013/9	BCN-P5999-0092	初版

* 管理番号は、右下に記載しています。

プロジェクトデータ

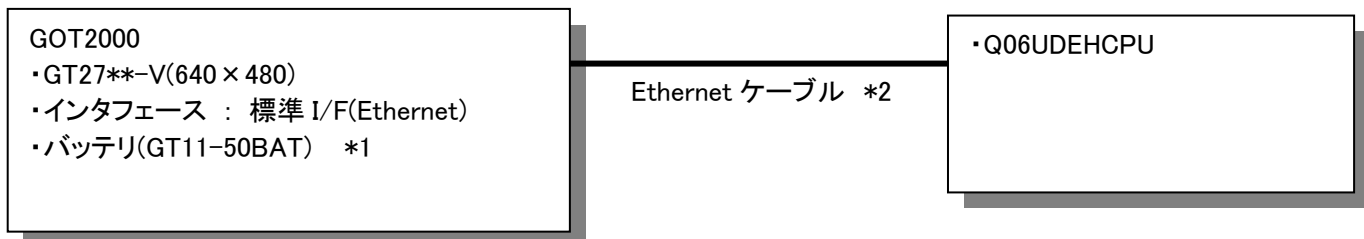
改訂日付	プロジェクトデータ	GT Designer3*	改訂内容
2013/9	DeviceMonitor_V_Ver1_J.GTX	1.100E	初版

* プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

1. 概要

GOT2000とMELSEC-QシリーズシーケンサをEthernetで接続し、デバイスX、Y、B、M、D、Wの値をモニタするサンプル画面の説明書です。

2. システム構成



*1: バッテリは、時計データの停電保持に使用しています。(バッテリはGOT本体に標準装備しています。)

*2: ケーブルの詳細については、「GOT2000シリーズ接続マニュアル(三菱電機機器接続編)」を参照してください。

2.1 デバイスモニタ範囲

このサンプルではデバイスモニタ範囲を以下とします。

デバイス	デバイスモニタ範囲
X	0000-1FFF
Y	0000-1FFF
B	0000-1FFF
M	0-8189
D	0-12279
W	0000-1FFF

3. GOT について

3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション

種類	システムアプリケーションの名称	
基本機能	基本システムアプリケーション	
	標準フォント	日本語
通信ドライバ	Ethernet 接続	Ethernet(MELSEC),Q17nNC,CRnD-700,ゲートウェイ
拡張機能	標準フォント	中国語(簡体)
	アウトラインフォント	ゴシック
		英数かな
		日本語漢字
		中国(簡体)漢字

3.2 作画ソフトウェアの接続機器設定

詳細設定

項目	設定値	備考
GOT NET No.	1	
GOT 局番	2	
GOT Ethernet 設定	下表を参照	
GOT 機器通信用ポート No.	5001	
リトライ回数(回)	3	
立ち上がり時間(秒)	3	
通信タイムアウト時間(秒)	3	
送信ディレイ時間(ms)	0	

GOT Ethernet 設定

項 目	設定値	備 考
GOT Ethernet 設定を本体に反映する	チェック有り	
GOT IP アドレス	192.168.3.18	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	
周辺 S/W 通信用ポート No.	5015	
トランスペアレント用ポート No.	5014	

3.3 作画ソフトウェアの Ethernet の設定

	自局	Net No.	局番	機器	IP アドレス	ポート No.	通信方式
1	*	1	1	QnUD(P)V/QnUDEH	192.168.3.39	5006	UDP

4. 画面仕様

4.1 表示言語

画面上に表示する文字列は、日本語・英語・中国語(簡体)の3言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループ No.241～246、255 の列 No.1～3 に下記のように登録しています。言語切り換えデバイスに列 No.を格納すると列 No.に対応した言語を表示します。

列 No.	言語
1	日本語
2	英語
3	中国語(簡体)

4.2 画面遷移

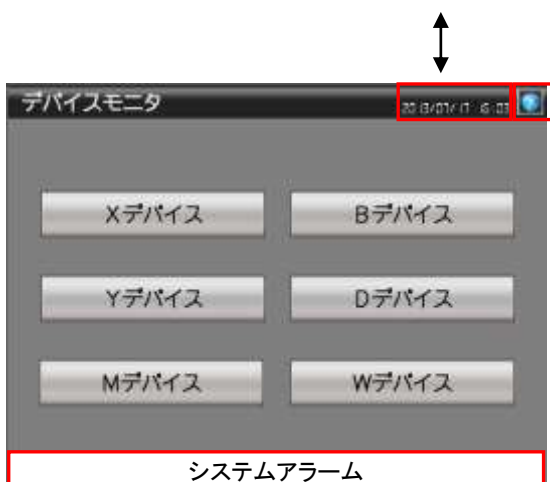
4.2.1 画面遷移(共通)



ウィンドウ画面 W-30003:時計設定



ウィンドウ画面 W-30002:言語設定

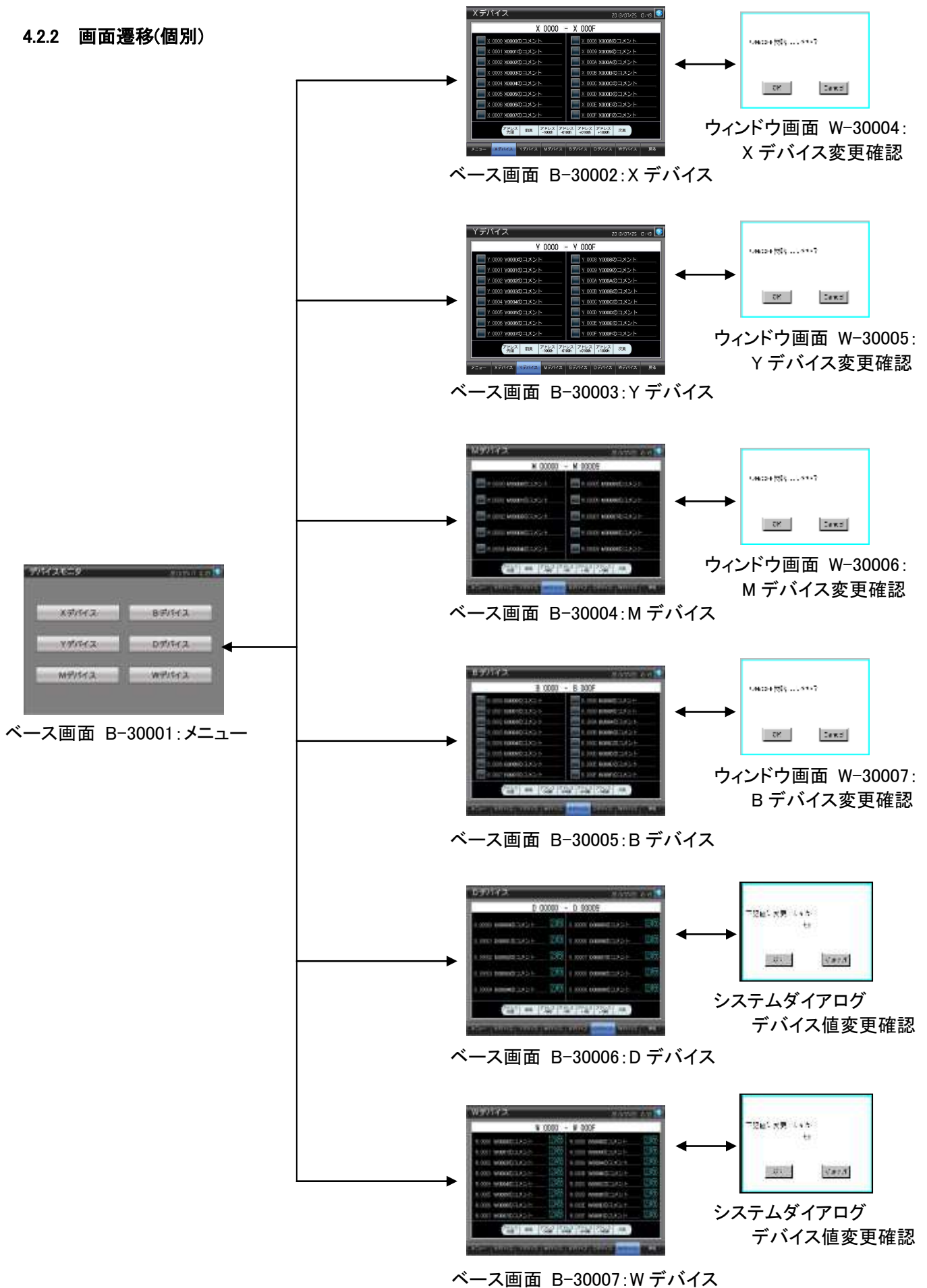


ベース画面 B-30001:メニュー他全ベース画面



ウィンドウ画面 W-30001:アラームリセット

4.2.2 画面遷移(個別)



4.3 画面説明

4.3.1 メニュー(B-30001)



概要

メニュー画面です。

詳細

1. X デバイス画面に切り換えます。
2. Y デバイス画面に切り換えます。
3. M デバイス画面に切り換えます。
4. B デバイス画面に切り換えます。
5. D デバイス画面に切り換えます。
6. W デバイス画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

4.3.3 Y デバイス(B-30003)



概要

Y デバイスのモニタと設定をします。

詳細

1. 現在モニタしているデバイス範囲を表示します。
2. 現在のデバイスの状態(ランプ)、デバイス番号、コメントを表示します。
ランプ、デバイス番号をタッチするとビットを反転します。変更時に変更確認ウィンドウを表示します。
3. モニタするデバイス番号を操作します。
アドレス先頭 : デバイス番号を先頭に切り換えます。
前頁 : デバイス番号を-16 点ごとに切り換えます。
アドレス-1000h : デバイス番号を-4096 点ごとに切り換えます。
アドレス-0100h : デバイス番号を-256 点ごとに切り換えます。
アドレス+0100h : デバイス番号を+256 点ごとに切り換えます。
アドレス+1000h : デバイス番号を+4096 点ごとに切り換えます。
次頁 : デバイス番号を+16 点ごとに切り換えます。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ モニタデバイスにはオフセットデバイスを設定しています。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

4.3.4 M デバイス(B-30004)



概要

M デバイスのモニタと設定をします。

詳細

1. 現在モニタしているデバイス範囲を表示します。
2. 現在のデバイスの状態(ランプ)、デバイス番号、コメントを表示します。
ランプ、デバイス番号をタッチするとビットを反転します。変更時に変更確認ウィンドウを表示します。
3. モニタするデバイス番号を操作します。
アドレス先頭 : デバイス番号を先頭に切り換えます。
前頁 : デバイス番号を-10 点ごとに切り換えます。
アドレス-1000 : デバイス番号を-1000 点ごとに切り換えます。
アドレス-100 : デバイス番号を-100 点ごとに切り換えます。
アドレス+100 : デバイス番号を+100 点ごとに切り換えます。
アドレス+1000 : デバイス番号を+1000 点ごとに切り換えます。
次頁 : デバイス番号を+10 点ごとに切り換えます。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ モニタデバイスにはオフセットデバイスを設定しています。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

4.3.5 B デバイス(B-30005)



概要

B デバイスのモニタと設定をします。

詳細

1. 現在モニタしているデバイス範囲を表示します。
2. 現在のデバイスの状態(ランプ)、デバイス番号、コメントを表示します。
ランプ、デバイス番号をタッチするとビットを反転します。変更時に変更確認ウィンドウを表示します。
3. モニタするデバイス番号を操作します。
アドレス先頭 : デバイス番号を先頭に切り換えます。
前頁 : デバイス番号を-16 点ごとに切り換えます。
アドレス-1000h : デバイス番号を-4096 点ごとに切り換えます。
アドレス-0100h : デバイス番号を-256 点ごとに切り換えます。
アドレス+0100h : デバイス番号を+256 点ごとに切り換えます。
アドレス+1000h : デバイス番号を+4096 点ごとに切り換えます。
次頁 : デバイス番号を+16 点ごとに切り換えます。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ モニタデバイスにはオフセットデバイスを設定しています。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

4.3.6 D デバイス(B-30006)



概要

D デバイスのモニタと設定をします。

詳細

1. 現在モニタしているデバイス範囲を表示します。
2. 現在のデバイス番号、コメント、デバイスの値を表示します。
数値をタッチすると値を変更できます。変更時には入力確認ダイアログを表示します。
3. モニタするデバイス番号を操作します。
 アドレス先頭 : デバイス番号を先頭に切り換えます。
 前頁 : デバイス番号を-10 点ごとに切り換えます。
 アドレス-1000 : デバイス番号を-1000 点ごとに切り換えます。
 アドレス-100 : デバイス番号を-100 点ごとに切り換えます。
 アドレス+100 : デバイス番号を+100 点ごとに切り換えます。
 アドレス+1000 : デバイス番号を+1000 点ごとに切り換えます。
 次頁 : デバイス番号を+10 点ごとに切り換えます。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ モニタデバイスにはオフセットデバイスを設定しています。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

4.3.7 W デバイス(B-30007)



概要

W デバイスのモニタと設定をします。

詳細

1. 現在モニタしているデバイス範囲を表示します。
2. 現在のデバイス番号、コメント、デバイスの値を表示します。
数値をタッチすると値を変更できます。変更時には入力確認ダイアログを表示します。
3. モニタするデバイス番号を操作します。
 アドレス先頭 : デバイス番号を先頭に切り換えます。
 前頁 : デバイス番号を-16 点ごとに切り換えます。
 アドレス-1000h : デバイス番号を-4096 点ごとに切り換えます。
 アドレス-0100h : デバイス番号を-256 点ごとに切り換えます。
 アドレス+0100h : デバイス番号を+256 点ごとに切り換えます。
 アドレス+1000h : デバイス番号を+4096 点ごとに切り換えます。
 次頁 : デバイス番号を+16 点ごとに切り換えます。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

- ・ モニタデバイスにはオフセットデバイスを設定しています。
- ・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- ・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

4.3.8 アラームリセット(W-30001)



概要

システムアラームをリセットします。

詳細

1. システムアラームをリセットし、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

4.3.9 言語設定(W-30002)



概要

GOT で表示する言語を選択します。

詳細

1. 言語を切り換え、ウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 表示言語にあわせてシステム言語も切り換える設定をしています。

4.3.10 時計設定(W-30003)



概要

GOT の時計データを変更します。

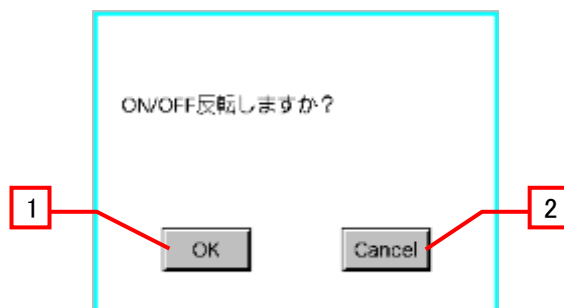
詳細

1. 現在の日時を表示します。
2. 変更したい日時を▼▲スイッチで設定します。▼▲スイッチは、長押しすると連続で増減します。リセットスイッチは、秒をリセットします。
3. 設定した日時を GOT の時計データに反映し、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ 変更する日時の初期値は、ウィンドウ画面を表示した時の日時です。
- ・ 変更する日時の年・月・日・時・分・秒の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「4.6 スクリプト一覧」を参照してください。

4.3.11 X(Y、M、B)デバイス変更確認(W-30004～30007)



概要

X(Y、B、M)デバイス画面でビットの変更を行う時に表示するウィンドウ画面です。

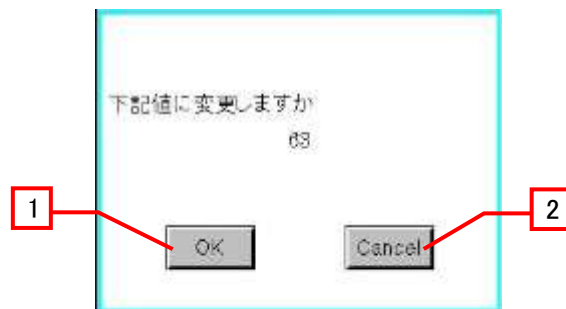
詳細

1. デバイス値を変更してウィンドウ画面を閉じます。
2. デバイス値を変更しないでウィンドウ画面を閉じます。

備考

- ・ ウィンドウ画面を閉じる時、ベース画面上でブリンク表示しているデバイス番号を通常表示に戻します。
- ・ 上記動作を画面スクリプトで行っています。スクリプトの詳細については、「4.6 スクリプト一覧」を参照してください。

4.3.12 システムダイアログ



概要

D(W)デバイス画面でデバイス値を変更する時に表示する、デバイス値変更確認のシステムダイアログです。

詳細

1. デバイス値を変更してウィンドウ画面を閉じます。
2. デバイス値を変更しないでウィンドウ画面を閉じます。

備考

4.4 使用デバイス一覧

画面上のスイッチやランプなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。

4.4.1 接続機器のデバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	X0000～X000F	モニタデバイス(X)
	Y0000～Y000F	モニタデバイス(Y)
	B0000～B000F	モニタデバイス(B)
	M0～M9	モニタデバイス(M)
ワード	D0～D9	モニタデバイス(D)
	W0000～W000F	モニタデバイス(W)

4.4.2 GOT の内部デバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	GB40	スクリプトトリガ(常時 ON)
	GD60031.b13	GOT エラーリセット信号(システム信号 1-1)
	GD60041.b11	キーウィンドウ出力信号(システム信号 2-1)
	GD61009.b0～b15	ビットデバイス ブリンク表示トリガ
	GS512.b0	時刻変更信号
ワード	GD60000	ベース画面切り換え
	GD60001	オーバーラップウィンドウ 1 画面切り換え
	GD60004	オーバーラップウィンドウ 2 画面切り換え
	GD60007～GD60009	オーバーラップウィンドウ 3 画面切り換え
	GD60007	ビット(X、Y、M、B)デバイス画面のデバイス番号切り換えスイッチの動作条件トリガデバイス
	GD60021	言語切り換え
	GD60022	システム言語切り換え
	GD60031	システム情報(読み出し)
	GD60041～GD60074	システム情報(書き込み)
	GD60055	現在カーソル表示ユーザ ID(システム情報) デバイス値変更_数値反転表示トリガ
	GD61000	X デバイス オフセットデバイス
	GD61001	Y デバイス オフセットデバイス
	GD61002	M デバイス オフセットデバイス
	GD61003	B デバイス オフセットデバイス
	GD61004	D デバイス オフセットデバイス
	GD61005	W デバイス オフセットデバイス
	GD61009	ビットデバイス ブリンク表示トリガの一括クリア(スクリプト No.30101)
	GD61010	X デバイス変更確認ウィンドウ オフセットデバイス
	GD61011	Y デバイス変更確認ウィンドウ オフセットデバイス
	GD61012	M デバイス変更確認ウィンドウ オフセットデバイス
	GD61013	B デバイス変更確認ウィンドウ オフセットデバイス
	GD63990～GD63995	時計のデジスイッチ
	GS513～GS516	変更時刻
	GS650～GS652	現在時刻
	TMP950～TMP996	スクリプト演算用

4.5 コメント一覧

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
241	No.1～16	B-30002
242	No.1～16	B-30003
243	No.1～10	B-30004
244	No.1～16	B-30005
245	No.1～10	B-30006
246	No.1～16	B-30007
255	No.1	B-30001
	No.2～7	B-30001～30007
	No.8	B-30002～30007
	No.9	B-30002～30007
	No.11～13	B-30002～30007
	No.14～17	B-30002、B-30003、B-30005、B-30007
	No.18～21	B-30004、B-30006
	No.101	W-30001
	No.102	W-30001、W-30003
	No.103	W-30002
	No.104～111	W-30003
	No.121～124	W-30004～30007

4.6 スクリプト一覧

項 目	設定
プロジェクトスクリプト	無し
画面スクリプト	有り: W-30004、W-30005、W-30006、W-30007
オブジェクトスクリプト	有り: W-30003

4.6.1 画面スクリプト

ウィンドウ画面 30004～30007

スクリプト No.	30101	スクリプト名	Script30101
コメント	ブリンク表示停止		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	画面を閉じる時
//指定デバイス番号のブリンク表示を止めます。 [w:GD61009]=0;			

4.6.2 オブジェクトスクリプト

ウィンドウ画面 30003

オブジェクト(名称)	数値表示(変更_年)		
スクリプトユーザ ID	1		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	立上り GB40
//時計データより今日の年月を取得 [w:TMP950] = [w:GS650] & 0xF000; //設定用時計データより年の下 2 桁の 10 の位を取得 [w:TMP960] = [w:TMP950] >> 12; //桁合せ [w:TMP968] = [w:TMP960] * 10; //BCD→BIN [w:TMP951] = [w:GS650] & 0x0F00; //設定用時計データより年の下 2 桁の 1 の位を取得 [w:TMP961] = [w:TMP951] >> 8; //BCD→BIN			

[w:TMP973] = 2000 + [w:TMP968] + [w:TMP961]; //TMP973 に年を BIN でセット
[w:GD63990] = [w:TMP973]; //年をセット

[w:TMP952] = [w:GS650] & 0x00F0; //設定用時計データより月の 10 の位を取得
[w:TMP962] = [w:TMP952] >> 4; //桁合せ
[w:TMP969] = [w:TMP962] * 10; //BCD→BIN
[w:TMP953] = [w:GS650] & 0x000F; //設定用時計データより月の 1 の位を取得
[w:TMP974] = [w:TMP969] + [w:TMP953]; //TMP974 に月を BIN でセット
[w:GD63991] = [w:TMP974]; //月をセット

[w:TMP954] = [w:GS651] & 0xF000; //設定用時計データより日の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP963] = [w:TMP954] >> 12; //桁合せ
[w:TMP970] = [w:TMP963] * 10; //BCD→BIN
[w:TMP955] = [w:GS651] & 0x0F00; //設定用時計データより日の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP964] = [w:TMP955] >> 8; //BCD→BIN
[w:TMP975] = [w:TMP970] + [w:TMP964]; //TMP975 に日を BIN でセット
[w:GD63992] = [w:TMP975]; //日をセット

[w:TMP956] = [w:GS651] & 0x00F0; //設定用時計データより時の 10 の位を取得
[w:TMP965] = [w:TMP956] >> 4; //桁合せ
[w:TMP971] = [w:TMP965] * 10; //BCD→BIN
[w:TMP957] = [w:GS651] & 0x000F; //設定用時計データより時の 1 の位を取得
[w:TMP976] = [w:TMP971] + [w:TMP957]; //TMP976 に時を BIN でセット
[w:GD63993] = [w:TMP976]; //時をセット

[w:TMP958] = [w:GS652] & 0xF000; //設定用時計データより分の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP966] = [w:TMP958] >> 12; //桁合せ
[w:TMP972] = [w:TMP966] * 10; //BCD→BIN
[w:TMP959] = [w:GS652] & 0x0F00; //設定用時計データより分の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP967] = [w:TMP959] >> 8; //BCD→BIN
[w:TMP977] = [w:TMP972] + [w:TMP967]; //TMP977 に分を BIN でセット
[w:GD63994] = [w:TMP977]; //分をセット

[w:TMP993] = [w:GS652] & 0x00F0; //設定用時計データより秒の 10 の位を取得
[w:TMP995] = [w:TMP993] >> 4; //桁合せ
[w:TMP996] = [w:TMP995] * 10; //BCD→BIN
[w:TMP994] = [w:GS652] & 0x000F; //設定用時計データより秒の 1 の位を取得
[w:TMP978] = [w:TMP996] + [w:TMP994]; //TMP978 に秒を BIN でセット
[w:GD63995] = [w:TMP978]; //秒をセット

オブジェクト(名称)	数値表示(変更_月)
------------	------------

スクリプトユーザ ID	2
-------------	---

データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
-------	------------	-------	----

// BIN → BCD 変換

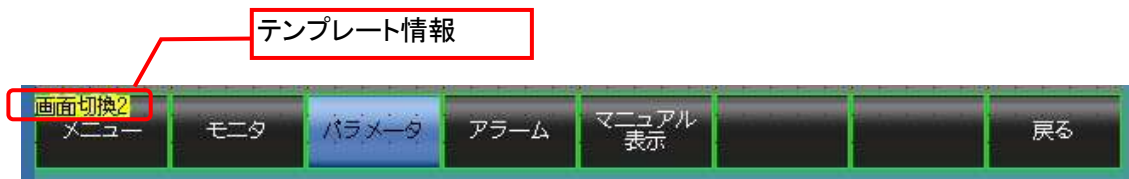
[w:TMP979] = [w:GD63990] - 2000; // 年の下 2 桁

[w:TMP980] = (([w:TMP979] / 10) << 4) + ([w:TMP979] % 10); // 年 BIN → BCD
[w:TMP981] = (([w:GD63991] / 10) << 4) + ([w:GD63991] % 10); // 月 BIN → BCD
[w:TMP982] = (([w:GD63992] / 10) << 4) + ([w:GD63992] % 10); // 日 BIN → BCD
[w:TMP983] = (([w:GD63993] / 10) << 4) + ([w:GD63993] % 10); // 時 BIN → BCD
[w:TMP984] = (([w:GD63994] / 10) << 4) + ([w:GD63994] % 10); // 分 BIN → BCD
[w:TMP985] = (([w:GD63995] / 10) << 4) + ([w:GD63995] % 10); // 秒 BIN → BCD

オブジェクト(名称)	数値表示(変更_日)		
スクリプトユーザ ID	3		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 年月設定			
[w:GS513] = ([w:TMP980] << 8) + [w:TMP981]; // 変更時刻デバイスに年月セット			
オブジェクト(名称)	数値表示(変更_時)		
スクリプトユーザ ID	4		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 日時設定			
[w:GS514] = ([w:TMP982] << 8) + [w:TMP983]; // 変更時刻デバイスに日時セット			
オブジェクト(名称)	数値表示(変更_分)		
スクリプトユーザ ID	5		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 分秒設定			
[w:GS515] = ([w:TMP984] << 8) + [w:TMP985]; // 変更時刻デバイスに分秒セット			
オブジェクト(名称)	数値表示(変更_秒)		
スクリプトユーザ ID	6		
データ形式	符号なし BIN16	トリガ種別	常時
// 曜日設定			
[w:TMP986] = [w:GD63990]; //年(BIN)			
[w:TMP987] = [w:GD63991]; //月(BIN)			
[w:TMP988] = [w:GD63992]; //日(BIN)			
if([w:TMP987] == 1) ([w:TMP987] == 2){ //1・2 月の場合のみ前年の 13・14 月として計算するための補正処理			
[w:TMP986] = [w:TMP986] - 1; //年から 1 を減算			
[w:TMP987] = [w:TMP987] + 12; //月に 12 を加算			
}			
[w:TMP989] = [w:TMP986]/4; //ツェラーの公式に必要な項を作成			
[w:TMP990] = [w:TMP986]/100; //ツェラーの公式に必要な項を作成			
[w:TMP991] = [w:TMP986]/400; //ツェラーの公式に必要な項を作成			
[w:TMP992] = (13*[w:TMP987]+8)/5; //ツェラーの公式に必要な項を作成			
//ツェラーの公式で曜日算出して変更時刻デバイスに曜日をセット			
[w:GS516] = ([w:TMP986]+[w:TMP989]-[w:TMP990]+[w:TMP991]+[w:TMP992]+[w:TMP988])%7;			

5. テンプレート

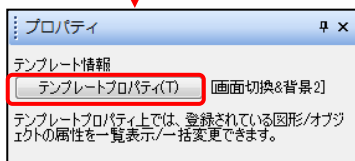
テンプレートとは、図形やオブジェクトの集合体です。関連のある設定をテンプレート属性としてまとめて登録しているためデバイスや色などを簡単に一括変更できます。属性の設定値を変更する詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。



テンプレート情報は作画ソフトウェアの編集画面上にのみ表示され、GOT の表示画面上には表示されません。

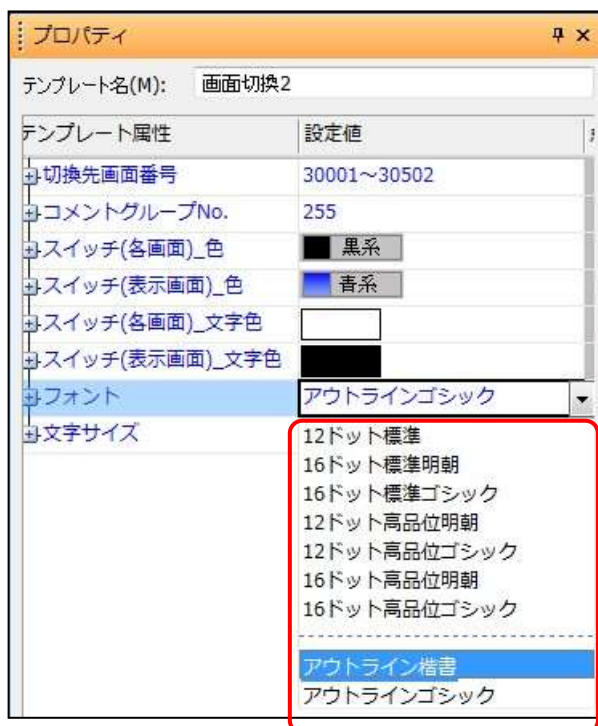
例: フォントを変更する場合

- (1) [テンプレート情報]を選択し[テンプレートプロパティ]をクリック(または[テンプレート情報]ダブルクリック)



テンプレートに登録されている図形やオブジェクトが選択状態になります。

- (2) [フォント]の設定値をクリックして、変更したいフォントを選択

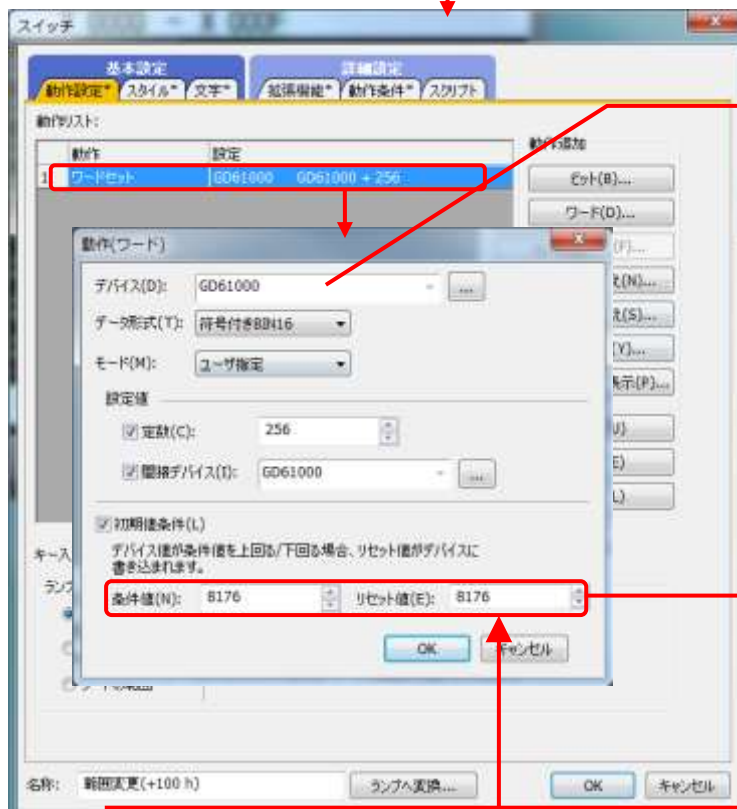


6. その他

6.1 デバイスマニタ範囲の変更

デバイスマニタ範囲は Q06UDEHCPU のデバイスデフォルト使用範囲以内で設定しています。詳細については、「2.1 デバイスマニタ範囲」を参照してください。モニタ範囲は変更できます。

デバイスマニタ各画面(B-30002~30007)の「アドレス+0100h」、「アドレス+1000h」、「次頁」スイッチの条件値とリセット値を修正します。(M デバイス(B-30004)と D デバイス(B-30006)の場合は、「アドレス+100」、「アドレス+1000」、「次頁」スイッチになります。)



オフセットデバイス

デバイスマニタ範囲が 0000~1FFF(8191)の場合、最終オフセットデバイスの値は 8176(1FF0)となります。

デバイスマニタ範囲を 0000~3FFF(16383)に変更する場合、最終オフセットデバイスの値は 16368(3FF0)となります。
→条件値とリセット値に 16368 をセットします。